

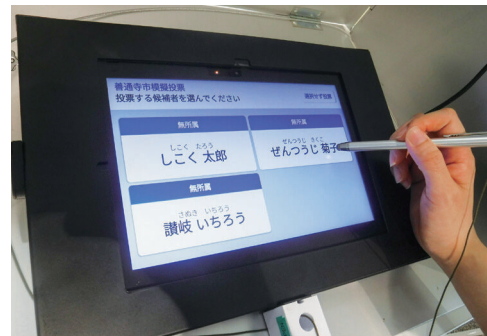
総務委員会

電子投票導入と投票率向上

問 導入促進への考えと県の対応、投票率向上への取り組みは。

答 導入促進に向け、普通寺市では体験コーナーを開設して有権者の不安解消に努め、意見集約を進めてきており、事前の丁寧な取り組みが重要である。知事選挙で電子投票を行う場合、都道府県レベルでは初となり、遺漏がないよう対応し、実務を行う市を支援したい。若年層も含めた投票率の向上は、新たに選挙啓発動画コ

ンテスト優秀作品をSNSで発信するなど、若年層をターゲットとして取り組む。



電子投票体験コーナー（普通寺市役所）

香川県国土強靱化地域計画

問 本県独自の特徴と改定で新たに加わる具体的な考え方は。

答 四国地域の防災拠点としての機能確保、全国一高密度に分布するため池の防災減災対策、島しょ部などにおける大規模災害対策など本県の地理的特徴を踏まえた計画となっており、「県民の生命を守る」「県と地域社会の重要な機能を維持する」「県民の財産と公共施設の被害を最小化する」「迅速な復旧・復興を行う」「四国の防災拠点としての機能

を果たす」の五つの基本目標を設定し、各種施策に取り組んでいる。

デジタル新技術の活用に関して国から新たな観点が示されたことから、水門の自動化や遠隔操作、AIを活用した道路補修の必要性判断、トンネルのひび割れ箇所抽出といった取組状況を踏まえて、計画策定を進めるとともに、能登半島地震の教訓を踏まえた、避難所の生活環境改善や福祉避難体制の充実などについてもしっかりと取り組んでいく。

そのほか、次期「新かがわ多文化共生推進プラン」の策定、首都圏情報発信・交流拠点施設整備運営事業、香川用水施設の老朽化・耐震対策、次期総合計画の策定、県立大学の設置・拡充、瀬戸内海歴史民俗資料館のあり方、会計年度任用職員の任用と女性の働き方、旧県立体育館解体、犯罪実行者募集情報対策などについてたしました。

環境建設委員会

「山の日」全国大会開催事業

問 大会に向けた準備状況や今後のスケジュール等は。

答 7月の実行委員会の設置に向け調整を進めており、8月頃に大会のテーマやロゴマークの公募を開始したい。来年8月11日の記念式典等の内容を含めた大会実施計画は、9月頃を目途に骨子案を取りまとめ、今年度内に策定予定である。12月にプレイベントとして瀬戸内海国立公園内でのウォーク行事を開催し、来年春頃から



過去の瀬戸内海国立公園内のウォーク行事

12月まで県内各地でイベントを展開し、新たなPR動画を作成し発信したい。

土木分野における中東情勢の影響への対応

問 県発注の公共土木施設工事への影響及びその対応は。

答 建設工事で使用される燃料は、現時点で建設業者等からの相談は寄せられていないが、原材料費に係る製造・輸送コストの上昇により、道路舗装に使われるアスファルト合材は、3割程度価格高騰しており、工事受注者等からは入手困難になりつつあるとの情報が寄せられている。こうした状況を踏まえ、

県が直接見積を徴収して設計金額の算定に最新の実績価格を反映させたり、契約後の建築資材の価格高騰の影響を請負工事費に反映させたりするための運用改善を図っている。

今後、資材の納期が遅れる事態が生じた場合には、工期延長等による必要な工期の確保、資材調達の見直し、物価変動等の最新の状況の把握に努め、公共工事への影響や国の対策を確認しながら適切に対応していく。

そのほか、特定外来生物対策、災害廃棄物処理の実地訓練、林業振興に向けた取組み、地域資源活性化プロジェクト、食品ロスの削減、高松港のにぎわい創出、県営住宅の弾力的活用、人口減少時代におけるインフラの価値向上と地域創生、被害想定の見直し等を踏まえた地震・津波対策の見直し、県道の路面標示などについてたしました。

文教厚生委員会

少子化対策の推進

問 機運醸成等の取組みは。

答 経済8団体との連携協定の締結や中小企業への補助、シンポジウム（※23）の開催、市町交付金（※24）による支援施策充実等により、社会全体でこども・子育てを応援する機運を高めたい。

若者の意見を反映した交流イベント実施や、学生や新婚世帯等の若者に対するライフステージ毎の支援策の発信など、若い世代に訴求すること、恋



KAGAWA U-25 SESSION

愛、結婚、出産、子育てを前向きに捉えてもらい、結果として結婚・出生数の増加につながるよう取り組みたい。

次期教育基本計画策定

問 策定の進捗状況と考え方は。

答 今年度末を目指して策定作業を進めており、こども基本法の内容を踏まえ、児童・生徒のニーズ等を幅広く把握し、計画の検討に活用するとともに、児童・生徒に計画策定の取組みを知ってもらう機会として、オンライン等でヒアリングを実施し、公立学校に通う約6割の児童・生徒から回答を得た。6月開催の第4回教育施策推進協議会で、このヒアリング結果等を報告し、

新しい計画の施策の方向性案について意見を聞いた。将来の予測が困難な社会の中、香川への愛着や誇りを育み、ふるさとの発展に思いをはせるとともに、自分の可能性を見出し、生涯学び続ける人づくりを進めることは、引き続き重要である。新しい計画でも現行の基本理念「郷土を愛し夢と志を持って自ら学び歩み続ける人づくり」をそのまま継承したい。7月の地域教育行政懇談会等での意見も踏まえ、更に検討を進めたい。

そのほか、県立病院事業会計の決算見込みと第五次中期経営目標、「身寄りのない高齢者」問題への対応、動物愛護管理、出生数増加に向けた取組み、精神医療の向かう方向と県立丸亀病院の再整備、香川型指導体制、県民の日の学校教育、県立高校のあり方、香川県高等学校等教育改革促進事業、東讃地域の高校再編整備などについてたしました。

経済委員会

県立アリーナを活用した観光コンテンツづくり

問 昨年度の成果や課題、今年度の実施方針と内容等は。

答 昨年度、10月と2月にプロジェクトシンポジウム、12月にクリスマスマーケットを実施し、県内外から50万人超の来場があり、事業費4億9百万円余に対し経済波及効果は約40億円となった。課題は滞在性の向上、近隣商業施設等との連携強化による周遊促進等である。今年度の実施方針は、

季節ごとに核となるイベントを展開し、年間を通じ継続的誘客や消費拡大が重要と考え、10月にオクトーバーフェスト、12月に新たな仕掛け等を盛り込んだクリスマスマーケットを期間延長して実施するほか、最も観光客が落ち込む来年1月から2月頃のイベントを検討中である。アリーナの集客効果を県内に波及させるため、新たに魅力あるコンテンツのガイド付き周遊ツアーを販売予定のほか、ガイド育成等に取り組んでいく。

イイダコの資源回復
問 イイダコの資源保護と資源を積極的に増やす取組みは。
答 遊漁者に呼び掛けてきたイイダコ釣り期間や時間の限定が、6月に漁業調整委員会指示を発出し、漁業法に基づくルールとして適用となった。今後、海上保安庁と連携した指導・取締りや周知徹底を行っていく。資源増進に向け、産卵床放流や、水産試験場が令和



イイダコ釣りのルール周知チラシ

6年に世界で初めて成功した完全養殖の継続実施のほか、放流用種苗の安定生産に向け、量産技術確立等に取り組む、漁獲量を5年間で3倍とする目標に向け、取り組んでいく。

そのほか、県内中小企業等への支援、坂出コンビナートの将来と産業競争力、産業クラスター計画、地域公共交通への支援、かがわマラソン、琴弾公園リニューアルによる地域活性化、ブロッコリーの指定野菜を契機とした生産振興と消費拡大に向けた取組み、受益のないため池の廃止、県産農畜水産物を活用した特産品等についてたしました。

※23 シンポジウム＝「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム

※24 市町交付金＝出生数反転のための市町交付金

四国への新幹線導入など 要望活動を行いました

令和8年5月27日に香川県で開催した令和8年度第1回四国4県議会正副議長会議において決定した事項について、国土交通省等に対し、四国4県議会議長による要望活動を行いました。



夏色
高校生フォトコンテスト広報委員長賞
撮影者：高松商業高校2年 水谷 琉生さん



演技派
高校生フォトコンテスト佳作
撮影者：高松工芸高校1年 山口 恵奈さん

第18回 高校生 フォトコンテスト 実施!!

高校生フォトコンテストを次のとおり実施します。

テーマ

私だけの香川
私の見つけた香川
元気が出る香川



募集期間

令和8年12月1日(火)～
令和9年1月29日(金)

詳しくは、
県議会のホームページを
ご覧ください。

ホームページはこちら



閉会中の委員会活動(6月)

◆経済委員会(6月4日・現地視察)

・香川県農業協同組合(西讃営農センター・豊南パーク工場)、株式会社サムソン(観音寺市)、J-R高瀬駅(三豊市)

◆文教厚生委員会(6月5日・現地視察)

・観音寺市立一ノ谷小学校、サニーハウス(三豊市)

議会インターネット中継実施中!!

香川県議会ホームページで公開されている本会議や委員会の生中継や録画配信が、スマートフォンやタブレットでも視聴できます。

香川県議会ホームページからも
リンクしています▶▶



訂正とお詫び

令和8年5月25日発行のほっと県議会かがわVol.117(P2)で掲載した山本悟史副議長就任あいさつの略歴中の「高松市出身」は「観音寺市出身」の誤りでした。訂正とお詫びを申し上げます。

今月の表紙



「第17回高校生フォトコンテスト」の入賞作品のうち、議長賞を各号の表紙に使用し、広報委員長賞及び佳作を誌面でご紹介します。

(学校名・学年は令和8年1月応募時のものです)

「夕日と影」 観音寺総合高校2年 笹岡 心花さん

この写真は11月の放課後に空がきれいだったため、友達と地元の有明浜へ行ったときに撮影したものです。スマホに写した空と海を、背景の水平線とつながるように並べて撮影しました。夕暮れの空と、風で波立つ海がよく映えていて自分のお気に入りの一枚です。

写真を撮ることに慣れておらず難しいけれど、技術を磨いてこれからも好きな瞬間をたくさん写していきたいです。

